

特定非営利活動法  
福山市身体障害者団体連合会

第31号

# 福山市身連通信

2018 (H. 30) 年 7月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会  
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会  
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

## 目 次

市身連二十一年度第一回理事会	1
市身連二十一年度総会開催	2
市身連二十一年度決算	3
広島県障害者陸上競技大会 日本身障福祉大会	4
福山市障がい者相談員研修会 障がい者相談員協議会総会	5
新障がい者相談員名簿	6
市身連二十一年度主要行事予定	7

福山市身連二〇一八年度第一回

# 理事会 開催

日時 二〇一八年四月二一日午後  
会場 すこやかセンター視聴覚室

新年度に入り、福山市身連はすでに決まっている連携事業の対応や市身連としての事業を決めて活動するため総会を開催しますが、そのための理事会を四月中に開催するべく連絡会や四役会で討議して会計監査も済ませ資料づくりをし四月二一日、その日が人権センターでは駐車場が使えない恐れがあり、すこやかセンターのマンパワースペースを会場に開催しました。

三月末から市身連は福山市から補助金を受けるために先ず新年度の事業計画・予算を提出申請して、四月に入ると前年度の活動報告書類を揃えて承認が必要で、また前年度活動のための助成を義倉からいただきましたから、その報告書を提出してOKを受ける必要もあり、加えて県障害者スポーツ協会

からもスポーツ事業への助成を受けるため資料を揃えて報告が必要で、事務局はてんやわんやの状態なので副理事長も協力して理事会の資料作りをして新年度の準備をしました。

ところが連合会の会計として、大村さんに出納係として補助をしてもらっています、ほぼ全面的に責任者として活動されている白石さんが年度替わりの三月二〇日頃体調不良で入院となり決算期の最も活動してもらったとき会計不在となりました。本人も大変不本意である事で、病院から毎日副理事長に電話でやることの指令があり、支払いや市への届出、決算書類の収集、税理士委託等これまで白石氏一人でされていたことを例の「何を何せんといけんから何のと

ころへ持っていけ」と非常に固有名詞の少ない指令でどうにか決算書を作成してもらえました。

その決算はNPO法人になる前から続いていた赤字決算を初めて止めることになる結果にできました。

これらの報告や計画を議事として理事会の案内をしたところ、白石理事（執行部兼任）と門田理事（理事長兼任）が欠席となりましたがほかの全員が出席され、理事会は成立し定款通り理事長を議長に定刻に開催となりました。

理事会は三島理事長の挨拶のあと、議事録署名名人の選出など手順をへて議事に入り、先ず前年度報告三議案を一括上提して質疑を受けるとして、事務局から事業報告活動日誌を読み上げ、続いて白石会計代理として村上副理事長が決算書に基づき報告、園生監事が監査報告をして質疑に入りました。ここで藤井理事が発言し、いろいろの行事が行われているが、その行事毎の前に理事会を開いて決定されていないとクレームの意見がありました、そのような方式は

藤井氏が事務局長の頃から行われておらず、年中理事会は開催できず毎月の連絡会をその代わりにして決定することは藤井事務局長の頃了承されていた事を全く覚えていない発言のようです。

しかし議長の理事長の答弁が要領を経ないとして終わらず、一旦休憩を取り、休憩明け理事長がその方向に努力すると答えて了承されたの次年度計画・予算の提案に移り、事務局から計画や行事予定の提案、続いて白石会計が原案を出して税理士事務所につけてもらった予算案の説明を代理がして、質疑に入り、計画の中に会員増加の努力を加えたり、余分な文言の削除等を修正したものを総会に提案することです承され可決となりました。

議事を終了し、このあとの総会の日程を五月の二〇日に会場を仮予約してあり、それに添って案内をすることを予告して、理事会は閉会しました。

# 平成三十年度通常総会

平成三十年五月二十日  
福山人権交流センター

会員の皆様に前年度の報告をし  
新年度の活動のための総会の案内  
をして五月二十日、人権センター  
の学習室を会場に開催しました。

事務局は現体制で最初の総会で  
あり正会員の確認をして案内をし、  
返信がなかなか揃いませんでした  
が出席と連絡があったのは三十名  
をかける程でした。しかし欠席者  
二十四名のうち二十一名は委任が  
してあり総会は成立しました。

当日事務次長は法事で欠席とな  
るので、その前日を予定しました  
が会場が使えずこの日になり、事  
務次長、会計と執行部が揃わない  
総会となりますので代役でこなせ  
るよう打ち合わせ、議長・署名人  
も事務局一任となった場合の内諾  
もとって会長の挨拶から開会とな  
りました。

## 前年度事業・決算報告

続いて事務局が総会の成立、議長、  
議事録署名人の段取りをし、議長  
は昨年引き続き甲斐氏、高橋氏の議  
長団で、署名人には井上・谷本両  
会員を選出して議事に入りました。

先ず前年度報告を根本事務局長  
がレンズを使って読み上げました  
が、途中村上副理事長続けて下さ  
いととなり、その続きと白石会計の  
代理の会計報告をし、園生監事が  
監査報告をしてここで質疑となり

ましたが、理事会の時と同じく藤  
井会員から行事をするのに理事会  
を開いて検討していないとクレー  
ムのような質問があり、自分なり  
の定款解釈でいかにも執行部が問  
違えた活動しているような発言な  
ので、執行部は理事会での発言を

踏まえて検討した統一意見として、  
連合会は行政等から予算付きの事  
業をもらえるよう法人化しました  
がそれは叶わず、会費の支出を抑  
えるためにも頻りに理事会を開催  
せず、毎月の連絡会で事業に対  
していきつと、藤井氏が事務局だ  
つた頃に申し合わせ事項として決  
定しており、それに従い三年前のサ  
ロン会も、次の年の市制一〇〇周  
年の時福山市・社協・体協等に後  
援されて一大事業となったスポー  
ツ大会もすべて連絡会で対応して  
開催しており、理事会開催のみが  
連合会の活動のように騒ぎ立てな  
いよう説明しましたが、自分だけ  
の主張で長引かせるため、最後の  
議事その他で、聞くことにし採  
決を取り承されました。

## 新年度計画・予算案

ここで議長が交代し新年度の計  
画や予算について、これもほぼ村  
上副理事長が読み上げ、質疑を受  
けましたが、ほとんど質問なく可  
決されました。そしてその他の議  
事として、事務局が今後の予定等  
について説明しましたが、やはり

藤井会員から自分には連絡会や事  
業の連絡がなかったとか、知らな  
いうちに終わっていたとか、明ら  
かに虚偽と思われるような発言を  
されるので担当者から嘘だと指摘  
されましたが、いつまでも続く  
で他の会員から別の場でやってく  
ださい、迷惑ですと発言され、議  
事を終了することになりました。  
毎年行事に参加も協力もせず総  
会で騒ぐだけが趣味の人もわれわ  
れの会員です。



特定非営利活動法人 福山市身体障害者団体連合会

活動計算書

貸借対照表

何れも単位は円

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

平成30年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
I 経常収益		I 資産の部	
1. 受取会費		1 流動資産	
正会員受取会費	26,000	現金預金	3,205,777
団体会員受取会費	60,000	未収金	40,000
参加会費	867,800	前払金	800
2. 事業収益		流動資産合計	3,246,577
自動販売機収入	333,738	2 固定資産	
3. 受取寄附金		有形固定資産合計	0
受取寄附金	4,044	無形固定資産合計	0
4. 受取助成金等		投資その他資産合計	0
福山市助成金	1,200,000	固定資産合計	0
日身連助成金	30,200	資産合計	3,246,577
その他助成金	222,896	II 負債の部	
5. その他の収益		1 流動負債	
受取利息	576	未払金	32,961
広告料収入	60,000	未払法人税等	93,900
経常収益計	2,805,254	流動負債合計	126,861
II 経常費用		2 固定負債	0
1. 事業費		負債合計	126,861
(1) 人件費		III 正味財産の部	
福利厚生費	280,194	前期繰越正味財産	3,082,493
人件費計	280,194	当期正味財産増減額	37,223
(2) その他経費		正味財産合計	3,119,716
旅費交通費	16,500	負債及び正味財産合計	3,246,577
通信運搬費	98,236		
消耗品費	42,517		
印刷製本費	17,496		
水道光熱費	121,470		
大会活動費	1,235,534		
研修費	12,000		
委託費	87,960		
諸会費	750,814		
会議費	10,000		
賃借料	1,410		
法人税、住民税及び事業税	93,900		
その他経費計	2,487,837		
事業費計			
経常費用計	2,768,031		
当期経常増減額	37,223		
III 経常外収益			
経常外収益計	0		
IV 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期正味財産増減額	37,223		
前期繰越正味財産額	3,082,493		
次期繰越正味財産額	3,119,716		

  

財産目録			
平成30年3月31日現在			
科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		I 資産の部	
1 流動資産		1 流動資産	
現金	45,062	現金	45,062
広島銀行普通預金	260,718	広島銀行普通預金	260,718
JA福山普通貯金(自販)	198,851	JA福山普通貯金(自販)	198,851
JA福山定期貯金	2,701,146	JA福山定期貯金	2,701,146
県障害者スポーツ協会	40,000	県障害者スポーツ協会	40,000
福山市30年度自販機	800	福山市30年度自販機	800
2 固定資産		2 固定資産	
固定資産合計	0	固定資産合計	0
資産合計	3,246,577	資産合計	3,246,577
II 負債の部		II 負債の部	
1 流動負債		1 流動負債	
福山市 自販機電気使	25,920	福山市 自販機電気使	25,920
NTT 電話料3月分	7,041	NTT 電話料3月分	7,041
未払法人税等	93,900	未払法人税等	93,900
流動負債合計	126,861	流動負債合計	126,861
2 固定負債合計	0	2 固定負債合計	0
負債合計	126,861	負債合計	126,861
正味財産合計	3,119,716	正味財産合計	3,119,716

# 広島県障害者陸上競技大会

日時 平成三〇年五月一三日  
会場 東広島陸上競技場

備しました。

当日朝から

大雨ではなく

中止の連絡も

ありませんの

でバスは市内

から雨は

会場について始まる頃から雨は

続き、その中で選手は濡れながら

競技を行いました。この雨は夕

方まで続く見込みで止みそうにな

く、濡れた人は寒さが厳しく、グ

ランドコンディションも悪くなる

一方なので、午前中のプログラム

を終えたところで中止と決定され

ました。

福山としてはバスも弁当も予約

しており、朝から中止であればバ

スでどこへ行って何をしてこうや

かと幹事は気遣っていましたが、

昼まで出来て行事は出来たことに

なるようですが、濡れた人はバス

で暖房を入れて風邪をひかないよ

うに帰るしかなかったようです。

屋外行事は天候に左右される中参

加の皆様雨中ご苦労様でした。

新年度に入る前から募集されて

いた、広島県障害者陸上競技大会

は五月一三日に開催となっていて

福山市から選手として県障害者ス

ポーツ協会へエントリーしている

人たちを確認して、連合会が応援

の人たちを募集し団体バスを仕立

て参加していますので今年も事務

局でバスを予約して対応しました。

東広島で全県開催され始めた頃

は連合会にも現役で選手として参

加する人も多く、それを応援する

人とバス満席ほどで参加していま

したが年と共に減少し、今年も福

山の選手は6名ほどで事務局とし

てはバス会社の予約を取り消し、

レンタカーのバスとボランティア

の運転手をお願いして、エコロジ

な参加といたしました。

ゴールデンウィーク後の週間天

気予報から日曜のみ雨予報でした

から、ずれてくれるよう願って準

# 第63回日本身体障害福祉大会 ぐんま大会

平成30年6月14日  
群馬県 高崎アリーナ

例年5月に開催されてい

ることの多い全国

福祉大会が今年

は梅雨入り後の6月

に群馬県で開催さ

れますが、昨年の大

会後開催地が群馬

とわかっていま

したので参

加予定者を聞くと福山で団体を組

むほどではなく、2泊3日の県身

連の団体に参加できる人が応募す

ることにして、結果福山からは5

名の会員が参加となりました。

県身連のツアーでは前々日の十

二日新幹線で県内の各駅から乗っ

て福山で全員が揃い東京について

「あさま」で軽井沢まで行き噴火

のあった浅間の近くですが観光を

して草津温泉に泊まり、二日目は温泉の湯畑や湯もみショーを見て白根山、上田城等一日観光を楽しんで、夜は温泉どころの群馬のこ

と佐久一萬里温泉の宿で大宴会をする旅を楽しみ一日でした。

三日目目的の日本身体障害者福祉大会の行われる、高崎アリーナ

に向け宿を朝八時に出発、参加しました。会場のアリーナは上越・

北陸新幹線の高崎駅から徒歩八分で行ける昨年4月から開館された

総合体育館で設備も新しく綺麗な会場でした。大会は例年通りに行

われ広島の団体は富岡製糸場を観光して帰途につきました。来年は

と遠い秋田で開催の予定とな

っています。

います。



二〇一八年度

# 福山市障がい者相談員研修会

時 平成三十年六月二十九日  
所 すこやかセンター研修室

公助について、本人として的心得、役所等の制度、また住んでいる町内会等での

関東甲信は早くも梅雨明けとなった六月二十九日、福山市障がい者相談員研修会が今年もすこやかセンターの地域ケア室でありました。

関係のあり方などについてまとめられた冊子に基づき説明を受けました。

中国地方は梅雨は明けてなく当日あいにくの雨模様でしたが、今年新しく任命された相談員約三十名が出席して研修を受けました。

昨年夏の我々の研修会では障害者に限らない全体としての災害時の避難場所とか、災害の種類による避難のしかたなどでしたが、今年は直接関係のある障害者や高齢者に対する支援について研修ができました。

今年相談員を担当する福祉事務所、所の福祉サービス担当加藤課長が司会の森島氏の紹介で挨拶され、相談員担当の千葉職員の自己紹介のあと研修に入りました。

続いての相談員による事例報告は今年知的障害相談員の瀬戸弘子氏が自身も親として子供の養育時から将来についての心配や、受けた相談者の思いと学校・施設等の担当者との意志の疎通など、これまでの事例で通じ合うことの難しさなどを話されました。

今回の研修テーマは昨年我々相談協が研修会をした災害時の対応を対象を絞った「避難行動要支援者に対する支援」について、福祉総務課の福祉担当中村仁美次長を講師に学習しました。

担当している部局での高齢者・障害者に対する災害への自助、共助、

ほぼ時間通り研修は進みましたがこれで終了し、つぎに予定されている総会の準備に入りました。

2018年度（平成30年度）

## 福山市障がい者相談員協議会 総会

福山市障がい者相談員協議会は今年度の総会の準備のため、六月二日の市身連連絡会に続いて協議会の理事

研修会を終えて続いての開催で出席の皆さんのお疲れも考えざるだけさっさと済ませるようになりますと挨拶をして総会に入り、今年も甲斐氏に議長をお願いして議事に入りました。

会を開催しますと案内して、総会用の事業・決算の報告や予算行事予定を作り

議事として先ず前年度の事業報告、決算報告、監査報告を一括報告して質疑としましたが、ここでは特に質問なく、了承されました。

理事予定を作り準備してきましたが、今年度身障全国大会が六月に入って開催

続いて新年度の計画と予算の案を提案して質疑を受けました。ここでは市の行事の場所が変更になっていることなどについて二、三の質問がありましたが説明がかわり承認されました。

となったこともあつて六月末とこれまでで最も遅い開催となりました。

その他の議事として先日の理事会に提案していた協議会の理事を構成団体の代表と執行部役員それぞれ規約にある顧問に統一して揃えることを提案して総会で決定となるよう提示して承認を得ました。

当日協議会役員は研修会前から受付を設けて年会費の徴収を行ないおほかたの会員から受け取る事ができました。

これで議事を終了し甲斐議長は任務終了、最後は田上副会長の閉会の挨拶でお開きとなりました。

総会は市の研修会の終了時点からの開催としますが、ほぼ予定通り研修会は終了しましたので少しだけ休憩して開催しました。

今後の日程としては八月に福山で県相談協の研修会が開催予定となっています。

## 福山市障がい者相談員名簿

2018年4月1日～2020年3月31日 身体障がい者相談員

所属	氏名	住所	電話	相談協
福山協会	種本 益明	西新涯町1-11-22-6	953-5861	
	大村 徳子	山手町943-5	951-3103	理事 会計
	村上 友一	西深津町2-4-37-105	921-1399	理事 会長
	中山 正	東町1-4-1	090-4652-4023	
	白石 憲式	赤坂町赤坂2062	951-0335	監事
松永	小川 愛二	本郷町404-2	936-0321	
加茂協会	鎌刈 拓也	加茂町粟根301	972-2095	理事 顧問
	森岡 猛	加茂町下加茂355-1	972-8397	
	藤原 信弘	加茂町上加茂63-46	972-8154	理事
	高橋 正通	加茂町中野678	972-4180	
車いす協会	谷本 博美	北吉津町4-15-1-2-103	090-9732-5681	
	菅原 晃	川口町3-22-12	954-1937	
	坪山 明生	本郷町695	936-0566	監事
視覚協会	前川 昭夫	熊野町乙1449-1	959-0781	理事 顧問
	藤井 貢	引野町北1-9-2-3	943-2850	
	岩崎 周市	新市町新市188-5	0847-51-5407	
	根本 敏太郎	水呑町300-7	920-5323	理事 事務局長
	佐藤 行伸	神村町5002	934-2509	
	中村 悦子	日吉台2-8-14-102	943-5684	
ろうあ協会	大成 敏正	津之郷町津之郷1210-2	952-1923	理事
	門田 潤美	久松台3-13-24	F 926-6380	理事
	黒木 純子	神辺町徳田533-2	F 962-2614	
	杉原 瑞枝	山手町3293-4	F 951-2508	
	原田 富雄	春日町2-10-23	F 941-0568	
難聴協会	西野 忍	野上町3-8-2	F 983-3204	
	坂井 章	山手町3539-1	F 951-3289	
	井上 佐智子	瀬戸町長和2596-17	F 951-6365	理事
新市協会	三島 茂	新市町戸手790-3	0847-51-3330	理事
神辺協会	園生 浩治	神辺町川南316-2	962-0616	理事 事務次長
	田上 敬二	神辺町上竹田416-47	966-1634	理事 副会長
	藤阪 美子	神辺町新徳田1002	963-0601	
	永見 大輔	神辺町川南179-11	963-2437	
芦田	甲斐 賛	退任 (県相談協役員)		理事 副会長
身体障がい以外の協議会役員				
知的	高橋 洋子	春日町5-6-46-4	090-7123-2657	理事
精神	岡 優範	新涯町6-23-22	090-3635-7374	理事

## 平成30年度主要行事予定

平成30年4月1日～31年3月31日				
月	日	行事	会場	備考
4	10	前年度会計監査	市身連事務所	
	21	市身連 理事会	すこやかセンター	
5	13	第12回県障害者陸上大会	東広島陸上競技場	
	20	市身連 新年度総会	人権センター学習室	
6	14	第63回日身連全国大会	群馬県高崎市	
	29	福山市障がい者相談員研修会	すこやかセンター	
	29	障がい者相談員協議会 総会	〃	
7	8	ライオンズ招待ボウリング大会	福山パークレーン	
8	29	広島県身障相談員研修会	広島県福山庁舎	
9		市身連主催行事		
10	5	中四国身障相談員研修会	広島市総合福祉センター	
	6	福山市ふれあい福祉まつり	ビッグローズ	
	13～15	全国障害者スポーツ大会	福井県	
	24	広島県身障福祉大会	庄原市民会館	
11	16	中四国身障福祉大会	倉敷市民会館	
12		市身連主催行事		
2		四役会		

\* 毎月執行部、各協会代表理事を含む連絡会を開催し、行事、活動について協議決議する

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。